

殿

骨材試験報告書

令和 年 月 日

工事名 _____

工事場所 _____

製品名 _____

福井市志比口3丁目2番14号 はさきビル2階

久米田砕石株式会社





骨材試験結果一覧表

依頼者	会社名	久米田碎石株式会社	
	所在地	福井県福井市志比口3丁目2番14号	
申依頼 請事者 事項	試料採取日	令和6年2月19日	
	試料採取場所	骨材堆積場	
	試料採取者	今村 嘉孝	
試料搬入日		令和6年2月19日	
試験日		令和6年2月19日	～ 令和6年3月29日

試験体種類		産地
細骨材	スクリーニングス(F-2.5)	福井県坂井市丸岡町上久米田37字

試験項目			試験結果
ふるい分け試験	JIS A 1102	粗粒率	2.69
微粒分量試験	JIS A 1103	微粒分損失質量 %	1.2
単位容積質量試験	JIS A 1104	単位容積質量 kg/l	1.65
		実積率 %	62.0
有機不純物試験	JIS A 1105	標準色に比較して	淡い
密度及び吸水率試験	JIS A 1109	表乾密度 g/cm ³	2.70
		絶乾密度 g/cm ³	2.66
		吸水率 %	1.68
すりへり試験	JIS A 1121	すりへり減量 %	—
安定性試験	JIS A 1122	安定性損失質量 %	2.0
粘土塊量試験	JIS A 1137	粘土塊量 %	0.06
骨材中の塩化物量試験	JIS A 1144	塩化物含有率 %	0.000
粒形判定実積率試験	JIS A 5005	粒形判定実積率 %	—
技術管理者		榎田 直也	
試験担当者		清水 享	

〈試験実施場所〉 株式会社M・T技研 中央材料研究所 福井県鯖江市二丁掛町7号6番地

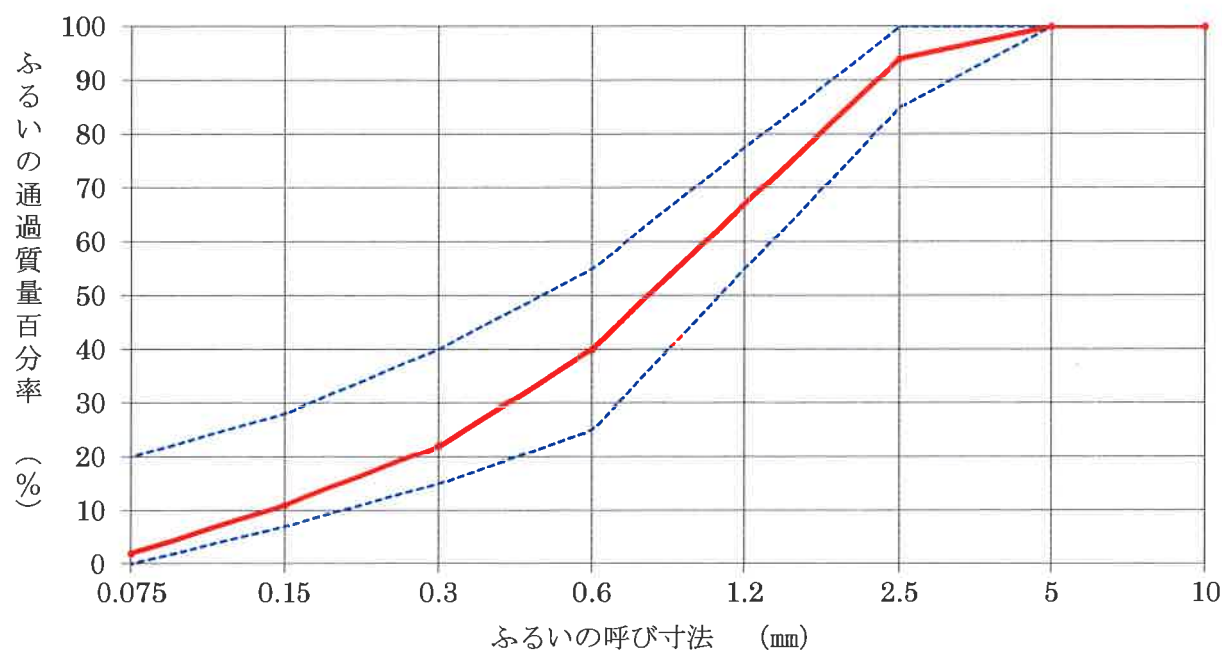
試験規格 JIS A 1102

骨材のふるい分け試験（細骨材）

試験担当者： 清水 享

試験日	令和 6 年 2 月 22 日			
試料	種類	スクリーニングス (F-2.5)	最大寸法	2.5 mm
	産地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字		
	採取日	令和 6 年 2 月 19 日		
	採取場所	骨材堆積場		
ふるい分け方法	手動	ふるい分け前の質量	530.5	
ふるいの呼び寸法 (mm)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量 (g)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
10	0.0	0	0	100
5	0.0	0	0	100
2.5	29.8	6	6	94
1.2	159.6	30	36	64
0.6	128.5	24	60	40
0.3	94.1	18	78	22
0.15	56.5	11	89	11
0.075	49.1	9	98	2
受け皿	12.8	2	100	0
合計	530.4	100	—	—
試験前後の質量差 (%)	0.02	粗粒率	2.69	
隣接するふるいにとどまる量の質量分率の差の最大値 (%)			30	

粒度曲線図





試験規格 JIS A 1103

骨材の微粒分量試験（細骨材）

試験担当者： 清水 享

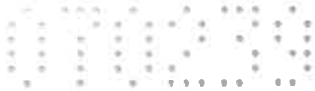
細 骨 材			
試 験 日		令和 6 年 2 月 22 日	
試 料	種 類	スクリーニングス (F-2.5)	
	産 地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採 取 日	令和 6 年 2 月 19 日	
	採 取 場 所	骨材堆積場	
試 験 回 数		1	2
洗う前の試料の乾燥質量 (g)	m_1	537.1	555.1
洗った後の試料の乾燥質量 (g)	m_2	530.5	548.5
骨材の 微粒分量 $= \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$ (%)	A	1.2	1.2
2回の試験の平均値 (%)	\bar{A}	1.2	
平均値からの差 (規格値:0.3%以下)		0.0	

試験規格 JIS A 1104

骨材の単位容積質量及び実積率試験

試験担当者： 清水 享

試験日			令和 6 年 3 月 29 日	
試料	種類		スクリーニングス (F-2.5)	
	産地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採取日		令和 6 年 2 月 19 日	
	採取場所		骨材堆積場	
試験回数			1	2
単位容積質量	容器の質量 (kg)	(1)	0.908	0.908
	容器の容積 (l)	V	2.001	2.001
	(容器+試料)の質量 (kg)	(2)	4.211	4.219
	試料の質量 = (2)-(1) (kg)	m ₁	3.303	3.311
	単位容積質量 = $\frac{m_1}{V}$ (kg/l)	T	1.65	1.65
	2回の試験の平均値 (kg/l)	\bar{T}	1.65	
	平均値からの差 (規格値:0.01kg/l以下)		0.00	
実積率	試料の絶乾密度 (g/cm ³)	d _D	2.66	
	実積率 = $\frac{\bar{T}}{d_D} \times 100$ (%)	G	62.0	



試験規格 JIS A 1105

細骨材の有機不純物試験

試験担当者： 清水 享

試験日	令和 6 年 3 月 8 日	
試料	種類	スクリーニングス (F-2.5)
	産地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字
	採取日	令和 6 年 2 月 19 日
	採取場所	骨材堆積場
試験結果 (標準色液又は色見本よりも)	淡い	

試験規格 JIS A 1109

細骨材の密度及び吸水率試験

試験担当者： 清水 享

試験日			令和 6 年 3 月 4 日	
試料	種類	スクリーニングス (F-2.5)		
	産地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字		
	採取日	令和 6 年 2 月 19 日		
	採取場所	骨材堆積場		
試験回数			1	2
表乾密度	水を満たした ピクノメータの全質量 (g)	m_1	1152.9	1166.2
	表乾密度試験用試料の質量 (g)	m_2	529.9	555.9
	試料と水で満たした ピクノメータの質量 (g)	m_3	1487.0	1516.9
	試験温度における水の密度 (g/cm ³)	ρ_w	試験水の温度 20 °C 0.9982	
	表乾密度 = $\frac{m_2 \times \rho_w}{m_1 + m_2 - m_3}$ (g/cm ³)	d_s	2.70	2.70
	2回の試験の平均値 (g/cm ³)	\bar{d}_s	2.70	
	平均値からの差 (規格値:0.01g/cm ³ 以下)		0.00	
絶乾密度	表乾状態の 吸水率試験用試料の質量 (g)	m_4	588.8	519.5
	乾燥後の 吸水率試験用試料の質量 (g)	m_5	579.1	510.9
	絶乾密度 = $d_s \times \frac{m_5}{m_4}$ (g/cm ³)	d_d	2.66	2.66
	2回の試験の平均値 (g/cm ³)	\bar{d}_d	2.66	
	平均値からの差 (規格値:0.01g/cm ³ 以下)		0.00	
吸水率	吸水率 = $\frac{m_4 - m_5}{m_5} \times 100$ (%)	Q	1.68	1.68
	2回の試験の平均値 (%)	\bar{Q}	1.68	
	平均値からの差 (規格値:0.05%以下)		0.00	

水の温度と密度					
温度 (°C)	密度 (g/cm ³)	温度 (°C)	密度 (g/cm ³)	温度 (°C)	密度 (g/cm ³)
15	0.9991	19	0.9984	23	0.9975
16	0.9989	20	0.9982	24	0.9973
17	0.9988	21	0.9980	25	0.9970
18	0.9986	22	0.9978	—	—

試験規格 JIS A 1122

硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験（細骨材）

試験担当者： 清水 享

細 骨 材							
試 験 日		令和 6 年 3 月 15 日					
試 料	種 類		スクリーニングス (F-2.5)				
	産 地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字				
	採 取 日		令和 6 年 2 月 19 日				
	採 取 場 所		骨材堆積場				
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		試験前の 各群の質量	試験後の 各群の質量	各群の損失 質量分率 $(1 - \frac{m_2}{m_1}) \times 100$	骨材の損失 質量分率 $\frac{\text{①} \times P_1}{100}$
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの					
		質量	①質量分率	(g)	(g)	(%)	
(mm)	(mm)	(g)	(%)	m_1	m_2	P_1	(%)
0.15	—	61.9	12	—	—	—	—
0.3	0.15	56.5	11	—	—	—	—
0.6	0.3	94.1	18	100.0	97.2	2.8	0.5
1.2	0.6	128.5	24	100.0	96.9	3.1	0.7
2.5	1.2	159.6	29	100.0	97.8	2.2	0.6
5	2.5	29.8	6	100.0	96.9	3.1	0.2
10	5	0.0	0	—	—	—	—
合 計		530.4	100	—	—	—	2.0

注) ①の質量分率が全質量の5%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における損失質量分率の平均値をもって その群の値とする。前後の群における試験値のいずれかが欠けているときは、欠けていないほうの群の損失質量百分率をとる。

試験規格 JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試験担当者： 清水 享

細 骨 材		
試 験 日	令和 6 年 2 月 27 日	
試 料	種 類	スクリーニングス (F-2.5)
	産 地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字
	採 取 日	令和 6 年 2 月 19 日
	採 取 場 所	骨材堆積場
試験前の試料の乾燥質量 (g)	m_{D1}	164.8
試験後の試料の乾燥質量 (g)	m_{D2}	164.7
粘土塊量 = $\frac{m_{D1} - m_{D2}}{m_{D1}} \times 100$ (%)	C	0.06

注1) 試験回数は、附属書Bによる。

試験規格 JIS A 1144 4.b

細骨材の塩化物量試験

試験担当者： 清水 享

試験日		令和 6 年 3 月 4 日		
試料	種類	スクリーニングス (F-2.5)		
	産地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字		
	採取日	令和 6 年 2 月 19 日		
	採取場所	骨材堆積場		
細骨材の試料 [*]	(g)	—	1010.9	
試料のろ液	(ml)	V	50	50
28.2mol/L硝酸銀溶液 消費量 (ml)	始点 (ml)	a1	0.00	0.00
	終点 (ml)	a2	0.20	0.20
	a = a2 - a1	a	0.20	0.20
塩化物イオン量 (mgCl ⁻ /L)	C	4	4	
塩化物の含有率 (NaClとして)	(%)	0.000	0.000	
2回の試験の平均値	(%)	0.000		
[計算]				
$C = \frac{a \times f \times 1000}{V} \times 1$				

※骨材の塩化物量試験に用いる試料溶液の調製は、JIS A 5002の5.5（塩化物）による。

